

「望ましい教育環境の整備」に関する池田小学校区保護者・地域説明会（2019.2.22）

会議録詳細

教育委員会	<p>～資料に基づき説明～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前回の説明会で方針に「通学に要する時間が、50分以内を目安」と明記することによって、教育環境整備が遅れることはどうなのかといった意見があったため、50分以内の目安を削除し、「児童の負担を配慮し、通学時間を緩和する方策について検討する」とした。</li><li>・プールについて、整備構想が何度か変更となったが、「学校プール」を整備する方向で、平成31年度中に具体的な建設計画を立てる。</li><li>・他校でのご意見で、学力世界一のフィンランドが小規模な学校を目指しているとの意見があった。直近で行った OECD（経済協力開発機構）の国際学習到達度調査（2015年）では、科学的能力・読解力・数学的な能力の調査において、現在、科学的能力と数学的な能力で日本がフィンランドを上回っている。読解力はフィンランドが上回っているが、現在は日本が上位の位置にあり、フィンランドが世界一の状況ではない。</li><li>・アンケート結果から、望ましい教育環境の考え方に関しては、全体で8割を超える保護者から理解を得ている。利別小校区でも考え方については6割近い保護者の方に理解を得ている。池田小校区においては9割を超えている。学校統合に関しては、賛成が全体で7割近くとなっている。池田小校区では、賛成が9割となっている。アンケートを踏まえて、できる限り多くの保護者に理解していただくための必要な資料提示や対応を含め丁寧な説明をしていきたいと考えている。</li><li>・「望ましい教育環境の整備」に関する追加説明資料について、前回の説明会やアンケートにおいて指摘いただいたことに関して用意した。 資料1…一定規模が30～35人の解釈に誤りがあるのでは、との指摘について用意した。本提言については40人学級を35人学級に引き下げる時の提言となる。1学年の児童が36人の場合の例に、学級規模が小さくなりすぎる場合に生じる困難な状況について指摘している。本町では一定規模について中教審や小川論文で30～35人学級が適当としているが、学力向上の取組みは15～20人程度の集団がより効果的であるため、35人を超える学級が生じた場合は少人数指導を行うためにどのようなことができるか配慮して検討していきたい。</li><li>資料2…児童数の減少数と減少率が正確ではない、との指摘があったため用意。2月1日現在のため前回と数字が若干異なっていることもあるがご了承願う。また3校に係る維持経費を明示したほうが良いとのご意見があったことから、3校を維持した場合の経費を示した。理論的な数字として出しているの理解してほしい。また国の補助も1/2か1/3入るので、記載したとおりの金額ではない。</li><li>資料3…現状ベースから統合した場合、教員数がどのように変わるのかを示してほしい、との意見があった。現状の支援学級数を移行した場合の数で</li></ul>
-------	---

あるが、支援学級が増えたら教員数も変更すると理解してほしい。

資料4…利別地区の説明会の時に、人口の減少はわかるが児童の推移はどうなっているのか、という意見があった。年少人口（0～14歳）は、平成25年の国の推計では、2010年は827人、2040年には296人で531人が減少しているが、平成30年の推計値では2040年には183人となっている。

資料5…統合することによる成果や課題がわからないとの意見に対して用意。本町の具体例は想定できないため、全国的な統合の実例を記載している。

資料6…今回は2月1日現在の推計を示している。池田小については6学級を維持していく。高島小については、31年度は欠学年が1つ、36年度は欠学年が2つの2学級になる。利別小については、今年度から複式1学級となっている。31年度以降、子どもが1人か2人が転出或いは学籍変更した場合、更に複式学級が出現する可能性もある。

資料7…池田町の教育に関してどういった展望をもっているかよく分からないとの意見があった。あくまでも教育委員会としての構想案として示した。

今後の説明会の持ち方については、新年度のPTA役員の方々と相談しながらこうした場の持ち方について検討したい。

**～意見交換～**

参加者  
教育委員会  
参加者  
教育委員会

順調に行ったら義務教育学校はいつできるのか。  
財政的には早くても平成36年度以降となる。  
いきなり義務教育学校にした方が良いのではないか。  
小学校段階での教育活動を充実させてから進めたほうが良いと思っている。池田中学校がこれから各学年1学級となり、3教室が空くが、その他に3教室、職員室、支援学級教室等の教室整備が必要となるので、それらを充実させてからがスムーズと思われる。

参加者  
教育委員会

利別小や高島小での説明会の感じはどうか。  
利別小校区では反対意見しか出なかった。アンケートで寄せられた意見にもあるが、小規模でも子どもの教育活動の様子を見ると現状が良い。今後は児童数が60人程度となるといった意見もあった。今後10～20年先に利別小において60人を維持することができるのか。次回の説明会では年少人口の推計を説明する。利別は今の学校が良いので、今のままで行くべき。統合は地域衰退もあり、地域活性化に向けて町はどう考えているのかとの意見があった。

高島小は、児童が減少する状況を理解しているが、高島中や、プールが無くなり、今後学校やスケートリンク、保育所が無くなることで、高島地区の活性化について町としての施策を問われている。教育委員会独自に答えるべきことではないため、町と相談して、次回説明することとなる。

将来を考えると早く統合して教育環境を充実させたいと考えているので、今後も丁寧に説明していく。

参加者

説明した上で利別小は平成33年度末、高島小は平成35年度末の統合で

教育委員会	変更は無いのか。 理解が浸透しなければ必ず平成33年度末、35年度末というわけではない。理解を得てからと考えている。教育委員会としては教育環境を考えると出来るだけ早く統合をと考えている。
参加者 教育委員会	反対意見が多かった場合の方策は。 まだ考えていないが、100%同意しなければならないとは思っていない。できるだけ多くの方に理解を得て進めていきたい。 具体的なものは確かに見えないため、統合かどうかの判断ができないとの意見がある。次回説明会で教育委員会として具体的な方策を示していきたいと考えている。 今回のアンケート結果等は後日ホームページで公開するので、次回説明会等で意見があればいただきたい。 次の持ち方は4月以降、新PTA役員に相談しながら進めていきたい。  ～終了～